

令和7年度

「運営に関する計画・自己評価（最終評価）」  
及び「学校関係者評価報告書」



大阪市立滝川幼稚園

令和8年3月

1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

○本園の子どもは愛情豊かに育てられ、園生活をのびのびと楽しんでいる。子どもたちが主体的に遊びを深めることができるように年齢や発達に応じた環境の工夫を再構成しているが、友達と関わって遊ぶ中で自分の思いを表現し、相手の思いにも心を寄せ、話す力や聞く力を身に付けることが課題である。

**中期目標**

**【安全・安心な教育の推進】**

- 令和7年度本園アンケートで以下の項目において「そう思う」と回答をする保護者の割合を55%以上にする。
- ・「幼稚園で先生や友達と一緒に遊ぶことを楽しんでいる」
  - ・「先生や友達に自分の思いを伝えることができるようになった」
  - ・「幼稚園は避難訓練や安全指導などで子どもに安全に対する意識が身に付くように努めている」

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

- 令和7年度本園アンケートで以下の項目において「そう思う」と回答をする保護者の割合を55%以上にする。
- ・「幼稚園は話したり聞いたりする態度を育てることに努めている」
  - ・「幼稚園は健康に関する指導(衛生習慣・食育を含む)をしている」
  - ・「子どもは『早寝早起き朝ごはん朝うんち』の生活習慣が年度当初と比べて、身に付いてきた」

**【学びを支える教育環境の充実】**

- 絵本に親しめる環境づくりをする。
- ・学期に1回以上、おうちの人と一緒に絵本に親しめる機会を設ける。
  - ・校務支援パソコンを活用し、一人一人の子どもの「いいところみつけ」を記入し、個にあった指導を全教職員で行えるように努める。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【安全・安心な教育の推進】

#### 学校園の年度目標

- 令和7年度本園アンケートで以下の項目において「そう思う」と回答をする保護者の割合を55%以上にする。
- ・「幼稚園で先生や友達と一緒に遊ぶことを楽しんでいる」
  - ・「先生や友達に自分の思いを伝えることができるようになった」
  - ・「幼稚園は避難訓練や安全指導などで子どもに安全に対する意識が身に付くように努めている」

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

#### 学校園の年度目標

- 令和7年度本園アンケートで以下の項目において「そう思う」と回答をする保護者の割合を55%以上にする。
- ・「幼稚園は話したり聞いたりする態度を育てることに努めている」
  - ・「幼稚園は健康に関する指導（衛生習慣・食育を含む）をしている」
  - ・「子どもは『早寝早起き朝ごはん朝うんち』の生活習慣が年度当初と比べて、身に付いてきた」

### 【学びを支える教育環境の充実】

#### 学校園の年度目標

- 絵本に親しめる環境づくりをする。
- ・学期に1回以上、おうちの人と一緒に絵本に親しめる機会を設ける。
  - ・校務支援パソコンを活用し、一人一人の子どもの「いいところみつけ」を記入し、個にあった指導を全教職員で行えるように努める。

## 3 本年度の自己評価結果の総括

保護者アンケートにおける肯定的な回答の中でも特に、「そう思う」という回答の数値に重点を置き、それぞれ取組を進めてきた。様々な方法で家庭への発信を細やかに行ってきたことが保護者アンケートの数値に表れており、年度目標や中期目標の達成につながった。園に関わる一人一人に対し、思いを受け止め真摯に対応してきたことで、保護者が園の方針を理解し、よりよい子どもの育ちのために家庭と園が連携することが十分にできた。

基本的な生活習慣に関する取組ではアンケートの結果に表れにくい部分もあったが、長期的な見通しをもち、じっくりと子どもへの指導、保護者への啓発などを長年継続していったことが子どもの姿や保護者の意識を少しずつ変えていき、心身ともに健康的な生活を送ることにつながっていることが最終年度の数値に表れた。

今後も、子どもが十分に自己発揮し、安定した園生活を送ることができるように保育の質を高め、引き続き家庭と連携しながら幼稚園教育の充実を図っていきたい。

## 大阪市立滝川幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した  
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <p><b>学校の年度目標</b></p> <p>○令和7年度本園アンケートで以下の項目において「そう思う」と回答をする保護者の割合を55%以上にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「幼稚園で先生や友達と一緒に遊ぶことを楽しんでいる」</li> <li>・「先生や友達に自分の思いを伝えることができるようになった」</li> <li>・「幼稚園は避難訓練や安全指導などで子どもに安全に対する意識が身に付くように努めている」</li> </ul>	A
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容① <b>【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】</b></p> <p>「警備及び防災の計画」「安全対策マニュアル」に基づき、災害時に備えた訓練を実施する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前事後の指導を含む、実生活に即した避難訓練を年に7回以上行う。</li> <li>・月に1回、安全面について環境の見直しを図る。</li> </ul>	A
<p>取組内容② <b>【基本的な方向2、豊かな心の育成】</b></p> <p>安心して自己発揮したり、自分の思いを表現したりする子どもを育てる。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月のクラスだよりで、自分の思いを伝えようとしている子どもの姿について重点的に記載し、保護者への発信を行う。</li> <li>・年に3回、造形活動についての教材研究を行い、教員の資質向上につなげる。</li> </ul>	A
<p>中期目標及び年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p><b>【中期目標及び年度目標】について</b></p> <p>○年度末における保護者アンケートで、「そう思う」と回答する保護者の割合は、それぞれ以下の通りであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「幼稚園で先生や友達と一緒に遊ぶことを楽しんでいる」→98.2%</li> <li>・「先生や友達に自分の思いを伝えることができるようになった」→60.7%</li> <li>・「幼稚園は避難訓練や安全指導などで子どもに安全に対する意識が身に付くように努めている」→85.7%</li> </ul> <p>○以上の結果により、年度目標ならびに中期目標についても目標を達成することができた。</p> <p><b>【取組内容】について</b></p> <p><b>取組内容①</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各クラスの実態や園の生活に応じて、計画的に9回の避難訓練を実施することができ</li> </ul>	

た。実施時間だけでなく、実施日も限られた教職員のみ知っているという状況や、クラスそれぞれが違った場所で活動しているという実際の生活に合わせた訓練を行ったことで、安全な生活について、園全体が日常的に意識するようになった。また、園内の安全体制について、毎月の詳細な安全点検に加え、子どもの動線や教職員の連携方法、支援を必要とする子どもに対する援助方法など、訓練から分かった様々な気づきや課題を教職員で共有することができ、非常時における教職員の行動や連携を再確認することができた。

- ・訓練の事前事後に、絵本や素話、園内の防災用品の見学など、訓練内容に応じた指導を十分に行ったことで、日常でも放送・サイレンなどの合図に子どもたちが敏感に反応するようになった。様々な非常時にどのように身を守るか、子どもが意味を理解して訓練に参加する姿も多くなった。

## 取組内容②

- ・毎月のクラスだよりで、自分の思いを伝えようとしている姿について重点的に記載し、保護者への発信を行った。掲載内容を精選し、担任の意図が伝わるように簡潔に記載することで、自分の思いを伝えるために子どもがどのようなことで表現しているかが、わかりやすいクラスだよりとなった。拡大した全クラスだよりを掲示し、他クラスの様子にも保護者が関心をもちやすい機会をつくり、興味のある記事にシールを貼ってもらったことで、発信内容がどの程度保護者へ伝わっているか、教師が把握することにつながった。
- ・クラスだより作成時に、教師が子どもの姿を振り返ったり、その中での育ちについて考えたりすることが幼児理解につながり、安心して自己発揮したり、自分の思いを表現したりする子どもの姿や育ちをより具体的に、降園時も活用しながら保護者に伝えることができた。しかし、話すことが自分の思いを伝える方法としてイメージする保護者が多く、子どもの多様な表現についての発信があまり十分ではなかったと考えられる。
- ・造形活動についての教材研究を3回（7月「ローラー遊び」・12月「絵画」・1月「毛糸を使った製作」）行い、実技を交えながらどのような遊び方や工夫ができるのかを教師で話し合い、互いに学び合う機会となった。また、教育研究会2ブロック部会や講演会に参加し、他園で行っている造形活動や技法、子どもの表現を引き出すための教師の教育的意図をもった働きかけや環境などについて学び、自園での保育に生かすことができた。

## 次年度への改善点

### 取組内容①

- ・避難経路の安全を常に確保しておくとともに、来園者対応も再確認しておく。
- ・非常時だけでなく、交通安全への意識も高めていく必要がある。

### 取組内容②

- ・保護者への発信方法を検討し、子どもの多様な育ちが伝わるようにする。
- ・教師の資質向上につながるような学び合いの機会をもち、保育に生かしていく。

## 大阪市立滝川幼稚園 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p><b>学校の年度目標</b></p> <p>○令和 7 年度本園アンケートで以下の項目において「そう思う」と回答をする保護者の割合を 55%以上にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「幼稚園は話したり聞いたりする態度を育てることに努めている」</li> <li>・「幼稚園は健康に関する指導（衛生習慣・食育を含む）をしている」</li> <li>・「子どもは『早寝早起き朝ごはん朝うんち』の生活習慣が年度当初と比べて、身に付いてきた」</li> </ul>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① <b>【基本的な方向 4、誰一人取り残さない学力の向上】</b></p> <p>友達と関わる中で、思いや考えを伝えあい、協同性を育む。</p> <hr/> <p>指標 ・月に 1 回、月案について話し合う中で、協同的な遊びが様々に行える環境を考え、実践する。</p>	A
<p>取組内容② <b>【基本的な方向 5、健やかな体の育成】</b></p> <p>基本的な生活習慣の大切さを知らせ、身に付けられるようにする。</p> <hr/> <p>指標 ・月に 1 回、生活習慣（衛生習慣や食育等を含む）に関する保健指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ほけんだより」や保護者会を活用し、月に 1 回以上、保護者啓発を行う。</li> <li>・子どもたちが主体的に取り組めるよう、年に 3 回以上、健康カレンダーを工夫して作成する。</li> </ul>	A
<p>中期目標及び年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p> <p><b>【中期目標及び年度目標】について</b></p> <p>○最終評価における保護者アンケートで、「そう思う」と回答する保護者の割合は、それぞれ以下の通りであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「幼稚園は話したり聞いたりする態度を育てることに努めている」→91.1%</li> <li>・「幼稚園は健康に関する指導（衛生習慣・食育を含む）をしている」→89.3%</li> <li>・「子どもは『早寝早起き朝ごはん朝うんち』の生活習慣が年度当初と比べて、身に付いてきた」→58.9%</li> </ul> <p>○以上の結果により、年度目標ならびに中期目標についても目標を達成することができた。</p> <p><b>【取組内容】について</b></p> <p><b>取組内容①</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月に 1 回、異年齢が関わる遊びを中心に、協同的な遊びができる環境を設定したことで、どの子どもも無理なく遊びに参加し、一緒に楽しんだり考えたりしながら遊ぶ姿が見られた。年齢や時期・季節等を考慮し、経験させたいことを基に担任が共同で環境を考えたことで、各クラスの実態に応じた様々な遊びの場ができ、周りの友達と自然に思</li> </ul>	

いを交わしながら関わることができた。特に、2・3学期は季節柄、保育室でクラスの遊びが中心になりがちであったが、園庭の環境を充実させていたことで、引き続き戸外での協同的な遊びを楽しんでいた。

- ・生活発表会では、クラスの友達と劇遊びや楽器遊びの表現をどのようにすれば楽しいか考えたり、大道具や小道具についてのアイデアを出し合ったりしながら主体的に取り組み、友達と一緒に活動する充実感や満足感を味わっていた。相手に言葉や身振りで自分の気持ちを知らせたり、友達の思いを丁寧に受け止めようとしたりしながら、一つのものをつくっていくことを楽しんでいた。また、クラスで楽しんでいる仲良し遊びを他クラスも一緒に楽しむ機会を意図的につくったことで、友達の姿を見て「やってみたい」と刺激を受け、その遊びに興味をもったり、進んで他のクラスに遊びに行ったりするようになった。
- ・協同的な遊びを楽しむ中で、3・4歳児が5歳児に対して憧れをもつようになったり、5歳児が年下の友達に対して思いやりをもって優しく接したりするようになった。特に3・4歳児は、自分が年上に優しくしてもらった経験から、チャイルドデーに遊びに来た未就園児に対して遊具を譲ったり、一緒に遊んだりと進んでするようになった。

#### 取組内容②

- ・基本的生活習慣に関する保健指導を、視覚的教材を用いながら発達段階に応じて行った。保健指導で聞いた内容を家庭でも話していたり、実践したりしている様子が保護者の話からも分かり、保健指導が家庭での取り組みにも良い影響を及ぼした。また、保護者啓発として「ほけんだより」や保護者会での講話、作品展で生活習慣についてのスライドショーなどを通して基本的生活習慣の大切さを繰り返し伝え、保護者の意識が高まるようにしたことで、家庭での生活習慣を保護者が見直すきっかけにもなった。
- ・2月に滝川小学校の栄養教諭と連携し、食育講話を行った。就学を控えた5歳児には、給食についての興味をもつような話をしていただいたり、保護者向けには朝食をとる大切さについての講話をしていただいたりした。食への関心を深める機会となった。
- ・過年度のアンケート結果において、朝うんちの項目で肯定的な回答の割合が低かったことを受けて、子どもたちが楽しみながら主体的に排便習慣を身に付けられるよう、『うんちカレンダー』や『早寝早起き朝ごはん朝うんち』など、排便についてのカレンダーを配付し、毎朝トイレに座る習慣から身に付くようにした。カレンダーを活用し、継続して取り組むことで、朝うんちが習慣づいた子どもが増えてきた。

#### 次年度への改善点

#### 取組内容①

- ・幼児の実態に合わせて、柔軟に協同的な遊びができるような環境を考えていく。

#### 取組内容②

- ・使用教材の掲示場所を検討し、指導内容の定着を図る。

大阪市立滝川幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p><b>学校の年度目標</b></p> <p>○絵本に親しめる環境づくりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学期に1回以上、おうちの人と一緒に絵本に親しめる機会を設ける。</li> <li>・校務支援パソコンを活用し、一人一人の子どもの「いいところみつけ」を記入し、個にあった指導を全教職員で行えるように努める。</li> </ul>	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① <b>【基本的な方向6 教育DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】</b></p> <p>一人一人を大切にした教育を行う。</p> <hr/> <p>指標 ・遠慮しがちな子どもの様子を「いいところみつけ」に記入し、月に1回、園内委員会で共有することで、幼児理解の拡充を図る。</p>	A
<p>取組内容② <b>【基本的な方向8、生涯学習の支援】</b></p> <p>絵本に親しめる環境づくりをする。</p> <hr/> <p>指標 ・絵本週間の在り方を工夫し、保護者も絵本を楽しむ機会を月に1回以上設ける。</p>	A

中期目標及び年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p><b>【中期目標及び年度目標】について</b></p> <p>○絵本棚の整理や保育室の絵本環境の整備など年度ごとに目標を決めて実施したり、実態に即した絵本週間の在り方を工夫したりしたことで、絵本に興味をもち、本が好きになる子どもが多くなったとともに、保護者の絵本週間への意識も高まりつつある。</p> <p>○校務支援パソコンを活用することで、教職員の働き方に関わらず子ども一人一人に合った指導の共通理解を図ることができた。</p> <p>○以上の結果により、年度目標ならびに中期目標についても目標を達成することができた。</p> <p><b>【取組内容】について</b></p> <p><b>取組内容①</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周囲に遠慮しがちな子どもの実態把握として「いいところみつけ」を活用した。担任が十分に把握できていなかった部分の姿や心の動きも共有することができ、特別な配慮が必要な子どもだけでなく、より幅広く一人一人の姿を教職員間で見守り、支援していく体制が強化できた。また、子ども理解を深めることで保護者との関わりも考えていくようになり、子どもに関わる環境について共通理解を図る機会となった。教職員の働き方により園内委員会で全員が揃わないこともあったが、共有を意識するよう相互に努力することで、素早い伝達を行うことができた。園内委員会に要する時間が多くかかったが、幼児理解を十分に深めることができ、成果はあった。</li> </ul>

- ・遠慮しがちな子どもと並行し、特別な配慮の必要な子どもについても園内委員会で対応を報告する場を設けた。少しの変化も見逃さないように共有していることで、どの場に行っても同じ支援を受けられる体制となった。

#### 取組内容②

- ・絵本週間では、保護者が子どもの気持ちを想像したり、読んであげたい内容を考えたりすることで、子どもも保護者もより絵本に親しみをもてるように、保護者が子どもに読み聞かせたい本を選ぶ方法に変えた。最初は子どもの思いが強く、保護者の選んだ本よりも自分の好きな絵本を読んでもらおうとしたが、担任からの働きかけや回を重ねることで、保護者が選ぶ絵本を楽しみにしたり、保護者の後には自分で選んだ本を読んでもらい、2つの楽しさを味わう姿も見られた。子どもが十分に喜んでいる姿が増えるにつれ、保護者の絵本週間への意識が高まり、保護者の参加率が高くなった。
- ・保護者が参加できなかった子どもも、友達の保護者が選んだ本と一緒に楽しむ姿も見られ、絵本を通し、いろいろな人と関わる姿が見られた。
- ・絵本週間を通して、人に読んでもらう喜びや人に読む楽しさなどを子どもも保護者も感じ、絵本との関わりが充実してきたことで、絵本貸出カードに記入する内容が具体的に詳しくなり、家庭での様子を教師が把握し、保育に生かすことにつながった。

#### 次年度への改善点

#### 取組内容①

- ・園内委員会の内容共有に、校務支援パソコンを活用していくように工夫する。

#### 取組内容②

- ・子どもも保護者も楽しめる絵本との関わり方を考えていく。

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立滝川幼稚園 学校協議会

1 総括についての評価

自己評価は、妥当である。

- ・取組内容に対して、評価をしっかりと行っていることがよくわかった。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標「安全・安心な教育の推進」

○令和7年度本園アンケートで以下の項目において「そう思う」と回答をする保護者の割合を55%以上にする。

- ・「幼稚園で先生や友達と一緒に遊ぶことを楽しんでいる」
- ・「先生や友達に自分の思いを伝えることができるようになった」
- ・「幼稚園は避難訓練や安全指導などで子どもに安全に対する意識が身に付くように努めている」

自己評価は、妥当である。

年度目標「未来を切り拓く学力・体力の向上」

○令和7年度本園アンケートで以下の項目において「そう思う」と回答をする保護者の割合を55%以上にする。

- ・「幼稚園は話したり聞いたりする態度を育てることに努めている」
- ・「幼稚園は健康に関する指導（衛生習慣・食育を含む）をしている」
- ・「子どもは『早寝早起き朝ごはん朝うんち』の生活習慣が年度当初と比べて、身に付いてきた」

自己評価は、妥当である。

- ・基本的な生活習慣が子どもの身に付くよう、視覚的な教材を使用したことはとても評価できる。

年度目標「学びを支える教育環境の充実」

○絵本に親しめる環境づくりをする。

- ・学期に1回以上、おうちの人と一緒に絵本に親しめる機会を設ける。
- ・校務支援パソコンを活用し、一人一人の子どもの「いいところみつけ」を記入し、個にあった指導を全教職員で行えるように努める。

自己評価は、妥当である。

3 今後の学校園の運営についての意見

- ・園運営の中で様々な課題があると思うが、引き続き真摯に取り組んでほしい。